

安芸高田市電気料金高騰対策事業者支援事業実行委員長 様

安芸高田市電気料金高騰対策事業者支援金給付申請書兼請求書

申請者

住所	※個人事業主は住民票上の住所、法人（会社）は法人登記上の住所を記載 〒 -
法人名・屋号	
代表者職・氏名	※個人事業主は氏名のみ記載

電気料金の高騰の影響を受けているため、添付書類を添えて、支援金の給付を申請・請求します。

1 申請者の基本情報

業種分類 ※主な事業を記載		※みなし大企業判定 法人のみ記載 (みなし大企業の場合、(はい)を選択)	<input type="checkbox"/>	いいえ
主たる事業所の所在地(注) ※法人のみ記載	安芸高田市		<input type="checkbox"/>	はい
市内事業所の所在地 ※個人事業主のみ記載	安芸高田市			
事業概要 ※事業内容を記載				
申請事務担当者 ※日中連絡がつく 電話番号を記載	部署:		氏名:	
	電話:		E-mail:	@

(注) 主たる事業所とは、安芸高田市内で事業実態がある事務所又は事業拠点を有する者をいう。

2 給付対象要件の確認及び誓約・同意事項 ※全ての項目に☑が必要です

<input type="checkbox"/>	申請日時点で市内で事業を行っており、引き続き市内で事業を継続します。
<input type="checkbox"/>	記載の電気料金は、安芸高田市内の主たる事業所で使用している電気料金であり、自らが事業で使用する電気料金です。
<input type="checkbox"/>	安芸高田市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例に規定する指定管理者ではありません。
<input type="checkbox"/>	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を行う者又は当該営業に係る同条第13項に規定する接客業務を行う者ではありません。
<input type="checkbox"/>	安芸高田市暴力団排除条例（平成23年条例第25号）第2条に規定する暴力団員又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係にある者ではありません。
<input type="checkbox"/>	宗教活動又は政治活動を主な目的とする事業を行っている者ではありません。
<input type="checkbox"/>	事業実施に当たって必要な許認可その他事業実施に当たって必要な関係法令上の規定による要件を満たしています。
<input type="checkbox"/>	本申請に当たり、申請内容及び添付書類に虚偽の記載はありません。
<input type="checkbox"/>	支援金受給後、給付要件に該当しないことが判明した場合には、直ちに支援金を返還します。
<input type="checkbox"/>	申請期限までに不備を解消できない場合は、申請を取下げたと実行委員会がみなすことに同意します。
<input type="checkbox"/>	審査を目的に、事業実施状況等を公的機関へ照会することに同意します。
<input type="checkbox"/>	調査を目的に、必要と認められた場合、事業所等に立ち入り、帳簿書類等を調査することに同意します。
<input type="checkbox"/>	上記の要件の確認及び誓約・同意事項を破棄したことを理由に実行委員会が支援金の返還を求める場合は、これに従います。

3 対象期間における電気料金支払額 ※別紙 添付様式「電気料金計算書」を先に作成ください。

令和4年	支払金額 (円)	令和3年	支払金額 (円)
合計 (A)		合計 (B)	
添付様式の 按分後金額 (C)		添付様式の 按分後金額 (D)	
昨対差額 (C) - (D) (E)		(E)が4.8万円以上30万円未満の方 (E)×1/3 ※千円未満切り捨て	
支援金額 (昨対差額 : 48,000円以上)			

4 請求

請求額	
-----	--

5 振込先

フリガナ			
口座名義			
金融機関コード		支店コード	
金融機関名		支店名	
口座種別		口座番号	

6 添付書類チェックシート ※提出前に必ず確認ください。

<input type="checkbox"/>	添付様式 「電気料金計算書」
<input type="checkbox"/>	安芸高田市内での使用が確認できる書類の写し (電気料金の請求内訳書等) ※電気料金の請求内容及と住所が記載された書類等を令和4年と令和3年の各1枚提出ください。
<input type="checkbox"/>	電気料金を支払ったことが証明できる書類の写し (電力会社からの領収書等) ※対象期間に支払った全ての写しを提出ください。通帳の写し、振込控えでも可能です。
<input type="checkbox"/>	確定申告書類等の写し 法人 : 直近の事業年度の確定申告書別表1 及び 法人事業概況説明書 (両面) 個人 : 令和3年分または令和4年分の確定申告書B第一表 及び 所得税青色申告決算書 (4枚) ※白色申告の方は収支内訳書 (両面) ※税務署の「収受日付印」が押された控え、eTaxの場合は「電子申告日時」が印字された控え又は「受信通知」を添付
<input type="checkbox"/>	申請者名義の振込用預金通帳の写し (表紙 及び 表紙裏の見開き)
<input type="checkbox"/>	個人の方のみ : 身分証明書の写し (運転免許書 ※裏面のあるものは両面・健康保険証・マイナンバーカードなど)
<input type="checkbox"/>	その他審査等に必要書類 (実行委員会から指示がない場合は添付不要)

申請事業者名	
--------	--

安芸高田市電気料金高騰対策事業者支援金給付申請書兼請求書「3 対象期間における電気料金支払額」の表に記載した電気料金は次のとおりです。(電気料金単位：円)

	# 合計欄/領収NO欄 * 1											
	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分
1月												
2月												
3月												
4月												
5月												
6月												
7月												
8月												
9月												
10月												
11月												
12月												
合計 * 2												
按分割合 * 3												
按分後金額合計 * 4												

* 1 領収NO欄には、領収①等と記載し、ひと月毎に支払った金額を領収書等を基に記入してください。(記入例 例1参照) □
 * 2 合計は月ごとの合計を記入してください。また、事業所等の稼働が令和3年の中途である場合、令和4年の電気料金は令和3年の同月以降の金額を記入してください。(記入例 例2参照)
 * 3 按分割合欄は**事業用として使用する電気料金を家庭用と按分**している場合や、領収等の内に市外事業分が含まれている場合、**市内で使用する電気料金の割合**を領収書等毎にパーセント(%)で記入してください。(記入例 例3・例4参照)
 * 4 按分後金額合計欄は、合計(*2)に按分割合(*3 小数点第1位を四捨五入)を乗じた金額をご記入ください。(記入例参照)

※記入例

添付様式 電気料金計算書

申請事業者名	
--------	--

安芸高田市電気料金高騰対策事業者支援金給付申請書兼請求書「3 対象期間における電気料金支払額」の表に記載した電気料金は次のとおりです。(電気料金単位：円)

	#合計欄/領収NO欄 *1		例1 領収① (市内事業分で領収が2か所分ある場合)		例1 領収② (市内事業分で領収が2か所分ある場合)		例2 領収① (R3.8稼働)		例3 領収① (事務所・自宅兼用)		例4 領収① (市外事業分あり) (R4_311,222_R3_253,412)	
	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分	令和4年分	令和3年分
1月			50,600	40,000	40,000	29,800			50,600	47,850	40,000	39,870
2月			50,000	40,000	38,000	30,000			85,740	65,740	97,410	78,652
3月			50,000	40,000	50,000	45,000			85,740	65,740	97,410	78,652
4月			50,000	40,000	50,000	25,000			85,740	65,740	97,410	78,652
5月			50,000	40,000	50,000	29,800			85,740	65,740	97,410	78,652
6月			50,000	40,000	50,000	15,600			85,740	65,740	97,410	78,652
7月			50,000	40,000	50,000	38,000			85,740	65,740	97,410	78,652
8月			50,000	40,000	50,000	38,000	150,000	98,000	85,740	65,740	97,410	78,652
9月			50,000	40,000	50,000	38,500	160,000	13,000	85,740	65,740	97,410	78,652
10月			50,000	40,000	50,000	45,000	160,000	13,000	85,740	65,740	97,410	78,652
11月			50,000	40,000	50,000	39,000	160,000	13,000	85,740	65,740	97,410	78,652
12月			50,000	40,000	50,000	41,000	150,000	200,000	85,740	65,740	97,410	78,652
合計 *2	請求書3のAに転記	請求書3のBに転記	600,600	480,000	578,000	414,700	780,000	337,000	993,740	770,990	1,111,510	905,042
按分割合 *3			100%	100%	100%	100%	85%	100%	60%	40%	72%	72%
按分後金額合計 *4	請求書3のCに転記	請求書3のDに転記	600,600	480,000	578,000	414,700	663,000	337,000	596,244	308,396	800,287	651,630

※一つの請求(または領収)料
金に、対象外(自宅等家庭用や市
外の営業所・施設等)の料金が
含まれている場合、按分割合欄
に事業に使用した割合、市内
施設に使用した割合を記入し
てください。また、対象と対象
外が内訳書等で明確に確認で
きる場合は、対象分のみ記入
してください。

※按分の必要がなく、全て事
業用を使用している場合は、
按分割合欄に100%と記入し
てください。

※手書きの方で、領収書等が
1ヶ所分の場合、#合計欄の
みに記入してください。

※必要なページのみ印刷し
使用してください。

*1 領収NO欄には、領収①等と記載し、ひと月毎に支払った金額を領収書等を基に記入してください。(記入例 例1参照) □

*2 合計は月ごとの合計を記入してください。また、事業所等の稼働が令和3年の中途である場合、令和4年の電気料金は令和3年の同月以降の金額を記入してください。(記入例 例2参照)

*3 按分割合欄は事業用として使用する電気料金を家庭用と按分している場合や、領収等の内に市外事業分が含まれている場合、市内で使用する電気料金の割合を領収書等毎にパーセント(%)で記入してください。(記入例 例3・例4参照)

*4 按分後金額合計欄は、合計(*2)に按分割合(*3 小数点第1位を四捨五入)を乗じた金額をご記入ください。(記入例参照)

参考：支援額表

昨対差額	給付額
4.8万円以上30万円未満	昨対差額に1/3を乗じた額 (千円未満切捨)
30万円以上60万円未満	100,000円
60万円以上120万円未満	200,000円
120万円以上180万円未満	300,000円
180万円以上240万円未満	400,000円
240万円以上300万円未満	500,000円
300万円以上	700,000円